

照明費用の大幅削減で経営改善に貢献 手元の明るさがアップし、お客さまサービスも向上



導入先

有限会社 加賀石油さま

- 北海道/釧路市
- 1981年創業。市内を半周する釧路環状道路(国道44号線)に面した交通量の多い立地で、2007年2月の店舗リニューアルに伴い、24時間営業のセルフステーションに移行。灯油の販売、配達も行われており、近隣客の利用も多い。



導入商品

LEDキャノピー灯 DL-EG004×25台



- 2011年9月、400W水銀灯25灯から置き換え導入

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

24時間営業のガソリンスタンドにとって、管球交換代や電気代などの費用は大きな負担になっています。スタンド経営が厳しさを増す経済環境の中、照明費用の削減は大きな課題でした。

電気代が約60%近く削減でき、約5年で初期投資回収の見通しが立った上、管球交換代の削減や長寿命化で、経営改善につながりました。

お客さまから「全体的な明るさが増し、手元も明るくなり、セルフ給油がしやすくなった」と好評をいただいています。



有限会社 加賀石油
セルフサービスステーション
所長 加賀常寿さま

■ 導入の背景

点灯時間の調整だけではコスト削減も限界。
明るさを保ちながら照明費用を減らしたい。

2007年の24時間営業化に伴い、照明費用も大幅に増加。例えば、秋から春までなら、16時から点灯して22時に3分の1を消灯、早朝5時半に全消灯という省エネスケジュールを実行していましたが、思ったような成果は得られませんでした。そのため、従来の明るさをキープしながらも、より大きくコスト削減できる方法を探していました。

■ 選ばれた理由

消費電力低減により、約5年で初期投資を回収。
虫が寄りつきにくいため清掃の手間も大幅に減少。

置き換えた場合の消費電力のシミュレーションをしたところ、消費電力を約60%もカットでき、約5年で初期投資が回収できることがわかりました。また、夏場の虫の大量発生も悩みの一つで、とりわけ周辺の照明が落ちた深夜以降は虫が集中し、お客さまにもご迷惑をかけ、スタッフも死骸の清掃に手間が掛かっていました。そのため、LEDは虫が寄りつきにくいということも大きなメリットがあると考えました。

■ 導入後の効果

「手元が明るくなった」と、お客さまの声。
停電回復後も即時に点灯できる安心感。

LED照明に交換してからは、常連のお客さまから「全体的に明るく感じられ、特に手元が明るくなり、自分で給油しやすくなった」と、喜んでいただいています。また、万が一の停電時にも、電力回復後、水銀灯のように15分近くも待つことなく瞬時に点灯でき、大きな安心感につながっています。

■ 今後の展望

太陽光発電システムの導入など、LED照明との相乗効果で
地域に貢献できる体制づくりも視野に。

釧路も地震の多い地域なので、災害時の対応は、ガソリンスタンドにとっても大きな課題だと考えています。ガソリンだけでなく、冬場は灯油を世帯あたり平均200リットル/月近く購入いただいております。地域になくてはならない存在であると同時に、有事には地元役に役立つ災害対応拠点でありたいと考えています。今後は、太陽光発電システムの導入なども視野に、LED照明との相乗効果で地域に貢献できればと考えています。



冬場の灯油を買い求めるお客さまの手元をLEDキャノピー灯が明るく照らし出します